

新生児グループ

所属メンバー

長 和俊 (診療教授、昭和 60 年卒)
秋元 琢真 (助教、平成 15 年卒)
早坂 格 (大学院 4 年、平成 18 年卒)
卯月 ゆたか (大学院 3 年、平成 17 年卒)
池田 雅彦 (大学院 1 年、平成 20 年卒)

外来患者数 (2016 年 4 月～2017 年 3 月)

小児科発達支援 (新生児) 外来 984 人/年
産科外来 (1 ヶ月健診) 285 人/年

体重区分別新生児数 (2016 年 1 月～12 月) 院内出生分

体重区分	新生児数	死亡数
～1,000g	16	2
1,000～1,500g	14	1
1,500～2,000g	26	0
2,000～2,500g	59	1
2,500～4,000g	233	1
4,000g～	3	0
計	351	5

院外出生 NICU 入院児数 6 例

多胎症例数

双胎 26 組 52 例
品胎 0 組 0 例

研究内容

- ・先天性肺胞蛋白症の病因解析
- ・遺伝性間質性肺疾患の診断・治療法開発
- ・臍帯血および羊水 BNP 濃度に影響する周産期因子の解析
- ・胎児期における内分泌攪乱物質が性分化および性腺機能に及ぼす影響の研究
- ・早産出生した児の睡眠と発達に関する研究

【著書】

1. 長 和俊：出生後の身体診察. 新生児のプライマリ・ケア（日本小児科学会新生児委員会編）. 診断と治療社（東京）. Pp119-121, 2016年5月
2. 長 和俊：退院時診察と家族への説明. 新生児のプライマリ・ケア（日本小児科学会新生児委員会編）. 診断と治療社（東京）. Pp151-153, 2016年5月
3. 長 和俊：新生児聴覚スクリーニング検査. 新生児のプライマリ・ケア（日本小児科学会新生児委員会編）. 診断と治療社（東京）. Pp142-143, 2016年5月
4. 長 和俊：胎便吸引症候群. 周産期診療ワークブック（改訂第2版）（日本周産期・新生児学会 教育・研修委員会編）. メジカルビュー社（東京）. Pp247-251, 2016年7月
5. 長 和俊：新生児呼吸障害の病態生理. 新生児の呼吸管理ビジュアルガイド（編著）. メディカ出版（大阪） pp26-27. 2016年9月
6. 長 和俊：新生児の呼吸管理方法. 新生児の呼吸管理ビジュアルガイド（編著）. メジカルビュー社（大阪） pp70-71. 2016年9月
7. 長 和俊：グラフィックモニターの見方. 新生児の呼吸管理ビジュアルガイド（編著）. メディカ出版（大阪） pp118-119. 2016年9月
8. 秋元琢真：新生児の呼吸障害. 新生児の呼吸管理ビジュアルガイド（長 和俊 編著）. メディカ出版（大阪） .pp18-25. 2016年9月
9. 早坂 格：肺低形成以外の先天異常. 新生児の呼吸管理ビジュアルガイド（長 和俊 編著）. メディカ出版（大阪） .pp63-68. 2016年9月

【論文】

1. Hayasaka I, Cho K, Uzuki Y, Morioka K, Akimoto T, Ishikawa S, Takei K, Yamada T, Morikawa M, Yamada T, Ariga T, Minakami H: Frequency of malformed infants in a tertiary center in Hokkaido, Japan over a period of 10 years. J Obstet Gynaecol Res. 2017 Mar;43(3) :505-510.
2. Umazume T, Yamada T, Morikawa M, Ishikawa S, Kojima T, Cho K, Masauzi N, Minakami H: J Obstet Gynaecol Res. 2016 Jun;42(6) :632-9
3. Araki A, Mitsui T, Goudarzi H, Nakajima T, Miyashita C, Itoh S, Sasaki S, Cho K, Moriya K, Shinohara N, Nonomura K, Kishi R: Prenatal di(2-ethylhexyl) phthalate exposure and disruption of adrenal androgens and glucocorticoids levels in cord blood: The Hokkaido Study. Sci Total Environ. 2017 Mar 1;581-582:297-304
4. 長 和俊：新生児消化管出血の第一選択薬はビタミン K? 小児内科 48 巻 7 号, 1071-1073(2016.07)
5. 長 和俊：患児・家族への説明と困った家族への対応. 小児科診療. 79 巻 9 号, 1171-1176(2016.09)
6. 長 和俊：新生児寒冷傷害. 周産期医学 46 巻増刊, 838-839(2016.12)

7. 長 和俊：サーファクタント補充療法. 周産期医学 46 巻増刊 , 1043-1046 (2016. 12)
8. 長 和俊：遺伝性間質性肺疾患. 周産期医 46 巻 11 号 Page1365-1368 (2016. 11)
9. 早坂 格, 卯月 ゆたか, 森岡 圭太, 秋元 琢真, 長 和俊: 遺伝子診断で NKX2. 1/TTF-1 異常症と診断した 3 症例. 分子呼吸器病 21 巻 1 号 Page75-79 (2017. 03)
10. 長 和俊：呼吸窮迫症候群 (RDS). Neonatal Care 2017 春季増刊 , 10-14 (2017. 03)
11. 土川 陽子, 西條 泰明, 伊藤 善也, 吉岡 英治, 川西 康之, 堤 裕幸, 遠藤 俊明, 馬場 剛, 小林 正樹, 水上 尚典, 有賀 正, 長 和俊, 白石 秀明, 千石 一雄, 宮本 敏伸, 東 寛, 荒木 敦子, 池野 多美子, 宮下 ちひろ, 伊藤 佐智子, 湊屋 街子, 小林 澄貴, アイ ツバマイ ゆふ, 山崎 圭子, 西原 進吉, 田村 菜穂美, 岸 玲子: 環境省「エコチル調査」開始 4 年を経ての集計結果の報告 全国と北海道の参加者の喫煙・食物アレルギー等について. 北海道母性衛生学会誌 45 巻, 33-38 (2016. 08)

【学会発表】

1. 早坂 格：当施設における胎児形態異常の正診率に関する検討. 第 119 回日本小児科学会 (札幌) 2016/5/13-15
2. 長 和俊：新生児における呼吸管理のポイント (教育セミナー). 第 119 回日本小児科学会 (札幌) 2016/5/13-15
3. 早坂 格：遺伝子診断で NKX2. 1/TTF-1 異常症と診断した 3 症例. 第 15 回サーファクタント分子病態研究会 (札幌) 2016 年 6 月 4 日
4. 森岡圭太：母体因子が新生児の性分化に与える影響. 第 52 回日本周産期・新生児医学会 (富山) 2016/7/16-18
5. 早坂 格：遺伝子診断で TTF-1 異常症と診断した 3 症例. 第 52 回日本周産期・新生児医学会 (富山) 2016/7/16-18
6. 早坂 格：遺伝性間質性肺疾患の診断に関する研究. 第 52 回肺サーファクタント・界面医学会 (金沢) 2016/10/29
7. 長 和俊：サーファクタント補充療法ガイドライン策定の進捗状況. 第 29 回新生児慢性肺疾患研究会 (仙台) 2016/10/8
8. 秋元琢真：新生児期に発症した遺伝性間質性肺疾患の診断における血清マーカーの有用性. 第 29 回新生児慢性肺疾患研究会 (仙台) 2016/10/8
9. 池田雅彦：空気嚥下症による腹部膨満に対し胃管高位開放が有効であった 1 例. 第 61 回日本新生児成育医学会 (大阪) 2016/12/1-3
10. 廣瀬 文: 当院における 18 トリソミーの予後. 第 29 回北海道新生児談話会 (札幌) 2017/1/14
11. Kazutoshi Cho : Novel candidate gene for congenital alveolar proteinosis with hypogammaglobulinemia identified by whole exome sequencing analysis. The 13th International Congress of Human Genetics. (Kyoto, Japan) 2016/4/3-7

12. 長 和俊：新生児呼吸療法の進歩. 山東省新生児学会（青島, 中国）2016/6/25-26
13. Itaru Hayasaka：The diagnostic support for hereditary interstitial lung disease in Japan. Hot topics in Neonatology 2016 (Washington D.C., USA) 2016/12/5-7

【講習会】

1. 長 和俊, 早坂 格：北海道小児科セミナー2016（新生児蘇生法講習） 2016年5月21日～22日（ルスツ, ルスツリゾート・ホテル）
2. 長 和俊：新生児蘇生法講習（WIND サマーセミナー）2015年6月4～5日（ニセコ・ヒルトン）
3. 長 和俊：HFNCの基礎. 北海道大学病院周産母子センター研修会. 2016年6月13日（札幌, 北海道大学医学部学友会館「フラテ」大研修室）
4. 長 和俊, 小島崇史, 秋元琢真：北海道助産師会第9回新生児蘇生法「専門」コース講習会 2016年6月18日（札幌, 北海道大学保健科学研究院）
5. 長 和俊, 森川 守, 卯月ゆたか：WIND 第6回新生児蘇生法「専門」コース講習会. 2016年7月9日（札幌, 北海道大学保健科学研究院）
6. 長 和俊：新生児の全身管理とフィジカルアセスメント. 日総研セミナー. 2016年7月23日（札幌, 道特会館）
7. 長 和俊：新生児蘇生法インストラクター養成コース講習会. 2016年8月13日（札幌, 北海道大学保健科学研究院）
8. 長 和俊：グラフィックモニターの見方 日本新生児成育医学会第20回教育セミナー 2016年8月18～20日（豊科）
9. 長 和俊, 森岡圭太：天使大学助産研究科第4回新生児蘇生法「専門」コース講習会 2016年8月21日（札幌, 天使大学）
10. 長 和俊：北海道大学病院周産母子センター第10回新生児蘇生法「一次」コース講習会. 2016年9月22日（札幌, 北海道大学病院）
11. 長 和俊：新生児慢性肺疾患の発症抑制戦略. 神奈川県立子ども医療センター新生児科勉強会. 2016年9月29日（神奈川, 神奈川県立子ども医療センター）
12. 長 和俊, 卯月ゆたか：第2回手稲溪仁会病院新生児蘇生法講習会. 2016年9月25日（札幌, 手稲溪仁会病院）
13. 長 和俊：北海道大学病院周産母子センター第11回新生児蘇生法「一次」コース講習会. 2016年10月15日（札幌, 北海道大学病院）
14. 長 和俊：新生児のフィジカル・アセスメント～急性期呼吸器疾患も含めて～. 平成28年度 第3回苫小牧小児科医会研修会. 2016年2月23日（苫小牧, グランドホテルニュー王子）

【社会貢献】

なし

【学会活動】

日本小児科学会

代議員（長）

日本周産期・新生児医学会

理事（長）

日本新生児成育医学会

理事（長）

日本産婦人科・新生児血液学会

理事（長）

日本肺サーファクタント・界面医学会

理事（長）

日本臨床モニター学会

評議員（長）

日本小児保健学会

評議員（長）

日本新生児医療連絡会

役員（長）